

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-01		
施設名	荒川総合スポーツセンター				
所在地	南千住六丁目45番5号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和60年	2,930,000		
	増改築①	令和元年	3,406,709	263,233	965,400
増改築②				2,178,076	
併設施設	南千住野球場				
竣工年月日	昭和60年3月25日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和60年6月2日		職員数	60	
構造	SRC造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		6,412.09㎡		
	延床面積		12,638.35㎡		
設置目的・経緯	スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与する				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川総合スポーツセンター条例				
駐車場の状況	57台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	212台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	TM共同事業体		期間	令和2年4月1日 令和7年3月31日	から まで
事業内容	①管理運営(小体育室、トレーニングルーム、温水プール、ホール、管理事務室、キッズルーム、スタジオ、エアライフル場、大体育室、卓球場、第1武道場、第2武道場、弓道場、洋室会議室、和室会議室、第12ｸﾗﾌﾞ室) ②教室・講習会(通年制教室、定期制スポーツ教室、1回制教室、キッズルーム教室、自主事業教室等)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前8時～午後10時30分				
	休日	1月1日～1月3日、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	団体利用者数(人)	0	90,990	207,404	247,303	272,000
	個人利用者数(人)	0	128,133	149,059	190,628	208,000
	教室受講者数(人)	0	65,891	104,558	121,907	134,000
	大体育室稼働率(%)	0	92	92	93	95
	小体育室稼働率(%)	0	96	91	89	91
	教室開催数(回)	0	4,562	6,848	8,354	8,521
	教室申込率(%)	0	65	56	57	57
開館日数(日)	0	300	354	354	354	
に指定管理 等管理 費用	指定管理料(千円)	0	105,668	131,868	142,424	201,620
	指定管理者の支出合計(千円)	0	262,984	323,955	347,685	353,820
	指定管理者の人件費(千円)	0	129,844	144,324	145,432	147,765
	指定管理者の利用料金収入(千円)	0	109,892	170,270	181,457	151,572
備考	・令和4年度は、利用制限なく開館した。 ・利用者数については、平成30年度より減少したが、令和3年度から4年度にかけて回復傾向にある。					

III 財務諸表

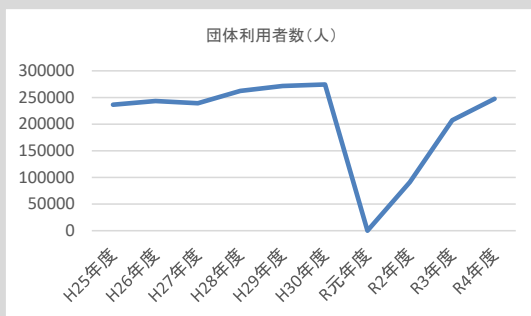
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	R3年度	R4年度	差額		R3年度	R4年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	143,652	143,147	▲505	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	47	586	539	使用料及び手数料	3,201	4,448	1,247
	減価償却費	248,048	177,212	▲70,836	その他	13,110	0	▲13,110
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	16,311	4,448	▲11,863
	賞与・退職給付引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲375,436	▲316,497	58,939
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲665	▲662	3
	行政費用合計(b)	391,747	320,945	▲70,802	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲376,101	▲317,159	58,942
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲376,101	▲317,159	58,942	
貸借対照表	勘定科目			勘定科目				
	R3年度	R4年度	差額	R3年度	R4年度	差額		
	流動資産			流動負債				
	収入未済	0	0	0	186,670	186,671	1	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	186,670	186,671	1
	有形固定資産	4,203,140	4,037,644	▲165,496	賞与引当金	0	0	
	土地	1,055,377	1,055,377	0	その他の流動負債	0	0	
	建物	6,313,992	6,313,992	0	固定負債	1,540,730	1,354,059	▲186,671
	建物減価償却累計額	▲3,241,846	▲3,402,980	▲161,134	特別区債	1,540,730	1,354,059	▲186,671
	工作物等	96,066	96,066	0	退職給付引当金	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲20,449	▲24,812	▲4,363	その他の固定負債	0	0		
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	1,727,400	1,540,730	▲186,670	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	2,502,574	2,512,033	9,459	
その他の固定資産	26,834	15,119	▲11,715	正味財産の部合計	2,502,574	2,512,033	9,459	
資産の部合計	4,229,974	4,052,763	▲177,211	負債及び正味財産の部合計	4,229,974	4,052,763	▲177,211	
備考	行政費用の令和4年度物件費は、委託料(指定管理料)が多くを占めている。補助費は令和4年度から始めたキャッシュレス決済サービス決済代行手数料負担金により増加した。							

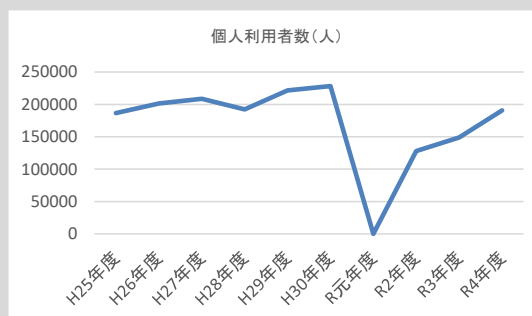
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	43	47	51	53.5	
	1㎡当たりコスト(円)	14,685	47,122	32,446	26,582	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	49	44.6	41.8	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	1,996	850	573	
	区民1人当たりコスト(円)	826	2,651	1,819	1,490	
	受益者負担比率(%)	-	25	29	34.5	
	開館1日当たりコスト(円)	-	1,896,500	1,198,003	906,624	
備考	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数、開館日数の減少、大規模改修費用が発生し利用者コスト等が増加した。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響及び大規模改修に伴う減価償却により開館1日当たりコスト等が増加した。令和4年度は通常通り営業を行ったため、利用者数、開館日数が増加し利用者コスト等が減少した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用者数	0	-	-	-	614,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度から指定管理者制度を導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	○ 区のスポーツ振興の中心的な施設として、多くの区民にスポーツを楽しむ施設として利用されている。					
現状・課題	○ 令和元年度に実施した大規模改修で整備したバリアフリー機能を生かした、障がい者や高齢者を含む多くの区民がスポーツを楽しめる事業等をさらに実施していく必要がある。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数がコロナ禍以前の水準に回復していない。					
課題に対する現時点での考え	○ 障がい者スポーツに関わる資格を有する職員の育成、地域との連携強化について指定管理者に引き続き働きかけを行う。 ○ 多様なニーズに対応した施設運営や集客向上に繋がる魅力的な事業の実施について指定管理者と協議する。 ○ 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、来場者の増加が見込まれるため、指定管理者と協議し、適切な人員体制を整える。					
議会、利用者等からの意見	○ 平成28年決特 スポーツセンター 指定管理の決算について ○ 平成29年予特 大規模改修時の代替施設について ○ 令和元年9月会議 利用料金改定について ○ 令和2年度決特 混雑時の利用者対応について					



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和4年度は新型コロナウイルスの影響を受けながらも、利用者数が平成30年度比で9割まで回復した。



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和4年度は新型コロナウイルスの影響を受けながらも、利用者数が平成30年度比で8割まで回復した。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-02			
施設名	荒川遊園スポーツハウス					
所在地	西尾久八丁目3番1号					
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成5年	3,070,000	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成5年6月24日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成5年7月26日		職員数	68		
構造	RC造(一部S造)		階層	地上3階、地下1階		
面積	敷地面積		1399.9㎡			
	延床面積		4493.12㎡			
設置目的・経緯	広く区民の利用に供し、区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツの振興に寄与する。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川遊園スポーツハウス条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	45台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社日新ウエルネス	期間	令和4年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	①施設の管理運営(アリーナ、トレーニングルーム、会議室1,2、事務室、温水プール) ②教室運営(通年制水泳教室、通年制スポーツ教室、アリーナ自由会員制教室等)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後9時30分				
	休日	年末年始(12月29日から1月3日)、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	団体利用者数(人)	19,102	7,799	15,025	18,184	18,548
	個人利用者数(人)	112,851	46,015	53,976	66,845	68,000
	教室受講者数(人)	57,545	33,888	44,916	50,713	51,590
	アリーナ稼働率(%)	55	30	38	48	49
	会議室稼働率(%)	18	9	11	12	12
	教室開催数(回)	2,366	1,487	2,279	2,532	2,532
	教室申込率(%)	55	55	53	46	47
	開館日数(日)	322	280	310	355	355
	委託料(千円)	103,212	104,612	92,411	92,848	94,705
に指定 に係る 管理 費用						
備考	利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したが、令和3年度から4年度にかけて増加し、コロナ禍前の8割まで回復傾向にある。					

III 財務諸表

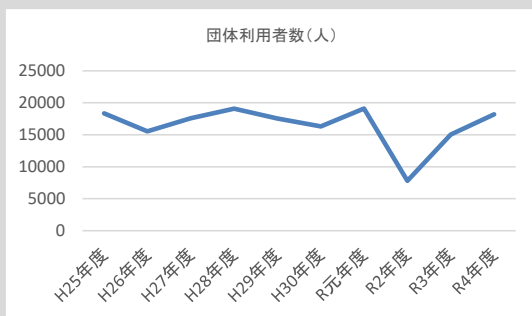
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	R3年度	R4年度	差額				R3年度	R4年度	差額			
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0		
		物件費	148,042	154,705	6,663		国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	43,120	0	▲43,120		都支出金	0	0	0		
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	3	147	144		使用料及び手数料	30,845	36,735	5,890		
		減価償却費	87,728	89,761	2,033		その他	191	1,152	961		
		不納欠損・賞引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	31,036	37,887	6,851		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲291,537	▲206,726	84,811		
		その他行政費用	43,680	0	▲43,680		金融収支差額(d)	0	0	0		
		行政費用合計(b)	322,573	244,613	▲77,960		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲291,537	▲206,726	84,811		
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0			
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲291,537	▲206,726	84,811			
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額			
		収入未済	0	0	0		流動負債	0	0	0		
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0				
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0				
	有形固定資産	779,304	693,648	▲85,656	賞与引当金	0	0	0				
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0				
	建物	3,111,239	3,111,239	0	固定負債	0	0	0				
	建物減価償却累計額	▲2,331,935	▲2,417,591	▲85,656	特別区債	0	0	0				
	工作物等	37,588	37,588	0	退職給与引当金	0	0	0				
	工作物等減価償却累計額	▲37,588	▲37,588	0	その他の固定負債	0	0	0				
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0					
建設仮勘定	3,461	9,761	6,300	正味財産	786,870	703,409	▲83,461					
その他の固定資産	4,105	0	▲4,105	正味財産の部合計	786,870	703,409	▲83,461					
資産の部合計	786,870	703,409	▲83,461	負債及び正味財産の部合計	786,870	703,409	▲83,461					
備考	行政費用は物件費が6割程を占め、委託料(管理運営等)が多くを占めている。補助費等の増は、還付金及び改修基本設計に係る報酬費によるものである。令和3年度の維持補修費及びその他行政費用は、荒川遊園スポーツハウスの工事請負費である。その他行政収入は、自動販売機電気使用料及び教室運営委託料の管理運営委託料との相殺分である。											

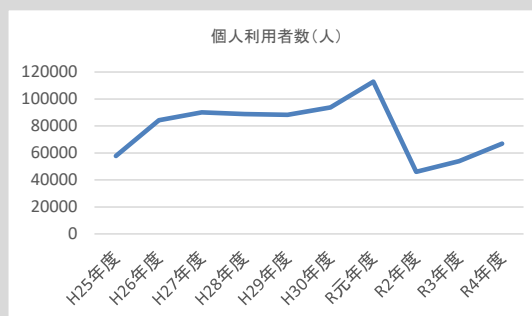
指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	70	73	75	78.0	
1㎡当たりコスト(円)	64,741	57,846	71,793	54,442	
受益者負担比率(%)	16	9.0	10	15.0	
開館1日当たりコスト(円)	903,382	872,181	1,040,558	689,051	
利用者1人当たりコスト(円)	1,535	2,964	2,832	1,802	
区民1人当たりコスト(円)	1,355	1,211	1,498	1,136	
財務指標・評価指標等					
備考	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による閉館はなく、維持補修費やその他行政費用の減により行政費用が減ったため、開館1日当たりコストや利用者1人当たりコスト、区民1人当たりコストが減少している。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用者数	目標値	-	-	-	138,138
		実績値	189,498	87,702	113,917	135,742
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現況維持 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 有 (変更内容:) ● 無					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	○ 尾久地区居住者の利用が多く、地域密着型の施設として利用されている。					
現状・課題	○ 令和4年度より、施設や設備の改修に係る基本設計に着手している。 ○ 老朽化部分の対応と、バリアフリー環境を目指し、障がい者や高齢者を含めた多くの区民が利用しやすい施設とする必要がある。 ○ 荒川総合スポーツセンターとの連携を含め、効率的・効果的な管理・運営方法等の検討が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○ 利用者からの意見・要望を踏まえて、関係機関と打合せを行いながら、特色のある施設運営や改修における改善を検討する。 ○ 指定管理者制度の導入を含めて検討を進める。					
議会、利用者等からの意見	令和3年度予特 改修の予定、改修後の運営方法について 令和4年度9月会議 改修の進め方、改修後の運営方法について 令和4年度決特 北側歩道の傾斜について 令和4年度11月会議 改修の方向性、区の取り組み姿勢について					



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により利用者数が増加した。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により減少していた利用者数が平成30年度比で約11割まで回復した。



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により利用者数が増加した。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により減少していた利用者数が令和30年度比で約7割まで回復した。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-05		
施設名	区民運動場				
所在地	西尾久三丁目14番3号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和54年3月			
	増改築①	平成27年4月	370,000		
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和54年3月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和54年3月		職員数	0	1
構造					
面積	敷地面積		7,339 m ²		
	延床面積		569 m ²		
設置目的・経緯					
区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。					
関連部署					
教育委員会事務局 教育施設課					
根拠法令等 設置条例					
荒川区営運動場の設置、管理に関する条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理業務(管理事務所・多目的グラウンド・小広場・駐輪場) : シルバー人材センター (R5. 4. 1~R6. 3. 31) ②補修業務(多目的グラウンド・小広場・駐輪場) : ワールドビルサービス (R5. 4. 1~R6. 3. 31) ③清掃業務(管理事務所) : 新菱ビルサービス (R3. 4. 1~R6. 3. 31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	土日祝の9:00~17:00 (5月~9月は1時間延長可)				
	休日	平日、年末年始12/29~1/3、土日祝の学校行事及び授業公開日等				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	多目的グラウンド利用者数	8,976	7,194	9,306	10,340	10,904
	小広場利用者数	1,320	1,024	1,292	1,566	1,508
	多目的グラウンド(件数)	408	327	423	470	450
	小広場(件数)	660	512	646	783	760
	稼働率(多目的)	98	93	95	100	98
	稼働率(小広場)	82	74	74	88	80
	開場日数	119	82	99	116	106
委託料(円)	7,227,843	6,465,025	6,842,818	6,822,339	7,293,086	
指定管理に係る費用						
備考	平日は尾久八幡中学校が校庭として利用しているため、土日祝日のみの利用となる。利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和3年度から4年度にかけて増加し、コロナ禍よりも増加傾向にある。					

III 財務諸表

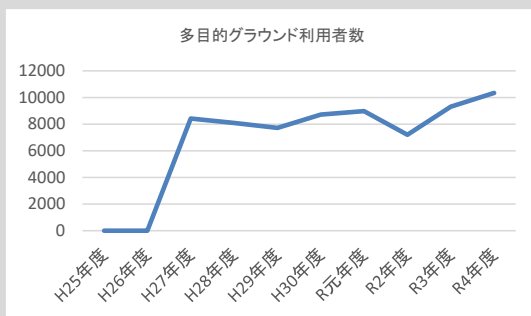
(単位:千円)

勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	8,427	8,872	445	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	372	139	▲ 233	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	701	734	33
	減価償却費	30,940	30,940	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	701	734	33
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 39,038	▲ 39,217	▲ 179
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	39,739	39,951	212	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 39,038	▲ 39,217	▲ 179
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 39,038	▲ 39,217	▲ 179	
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	1,072,486	1,041,546	▲ 30,940	その他の流動負債	0	0	0
	土地	709,032	709,032	0	固定負債	0	0	0
	建物	217,754	217,754	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 52,914	▲ 58,793	▲ 5,879	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	374,039	374,039	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 175,424	▲ 200,485	▲ 25,061	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,072,486	1,041,546	▲ 30,940	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,072,486	1,041,546	▲ 30,940	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,072,486	1,041,546	▲ 30,940	
資産の部合計	1,072,486	1,041,546	▲ 30,940					
備考	行政費用では、物件費が多かかっており、そのうち、委託料(日常補修業務、清掃業務、管理業務)が大部分を占めている。維持補修費の減は、令和3年度に多数の修繕を実施したことによる。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和4年度は利用件数がコロナ禍前より回復したため微増となっている。							

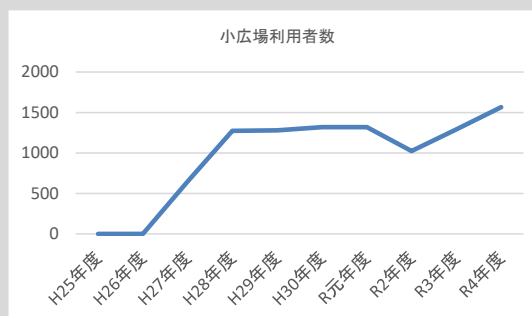
指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	28	33	39	43.8	
1㎡当たりコスト(円)	5,245	5,166	5,415	5,444	
受益者負担比率(%)	2	2	2	1.8	
開館1日当たりコスト(円)	323,496	462,366	401,404	344,405	
利用者1件当たりコスト(円)	3,739	4,614	3,750	3,356	
区民1人当たりコスト(円)	179	177	185	186	
財務指標・評価指標等					
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。1日当たりコストが他の運動場と比較して高いのは、平日は中学校として使用しているため、土日祝のみの可動によるものである。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用件数	目標値	実績値			
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	区営スポーツ施設で唯一の人工芝グラウンドであり、雨天等においても利用可能であるなど利用しやすいことから利用者が多い。					
現状・課題	○ 駐輪場の駐輪可能台数が限られているため、利用者の多い大会開催時などは、対応が必要である。 ○ 人工芝や防球ネット等の設備について、適切な維持管理や修繕を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○ 大会等の開催時には、学校のスペースを活用し、駐輪場スペースを確保する。 ○ 施設・設備について、日常的に維持管理を行っていきとともに、状態を確認し、計画的に修繕を実施していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和3年度から令和4年度にかけて増加し、コロナ禍前よりも高い水準となっている。



令和3年度から令和4年度にかけて増加し、コロナ禍前よりも高い水準となっている。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-04		
施設名	東尾久運動場				
所在地	東尾久七丁目1番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成3年5月	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成3年5月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成3年5月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積	29,195 m ²			
	延床面積	114 m ²			
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	60台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> トイレ	
駐輪場の状況	約90台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理:テニス5面(人工芝)、小広場、スリ-ウズリ、多目的広場:シルバー人材センター(R5.4.1~R6.3.31) ②補修:テニス5面(人工芝)、小広場、スリ-ウズリ、多目的広場:北川商会(R5.4.1~R6.3.31) ③駐車場管理運営業務:タイムズ24株式会社(R3.4.1~R.6.31) ④多目的広場トイレ清掃:シルバー人材センター(R5.4.1~R6.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4~9月9:00~18:00、10~3月9:00~17:00(4~10月土日祝7:00~、11~12月土日祝8:00~)				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等	庭球場、多目的広場等利用者数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
		47,154	37,595	49,317	34,868	48,000
	庭球場、多目的広場等(件数)	11,455	9,161	11,343	8,717	12,000
	稼働率(庭球場)	59	50	60	60	60
	稼働率(多目的)	58	56	61	75	60
	開場日数	359	305	344	358	360
	委託料(円)	24,635,271	26,113,962	25,561,701	23,653,536	29,444,374
に指定 用等 管理 費理						
備考	利用件数について、令和4年度は庭球場DE面人工芝張替え工事等による休場の影響で令和3年度よりも減少している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

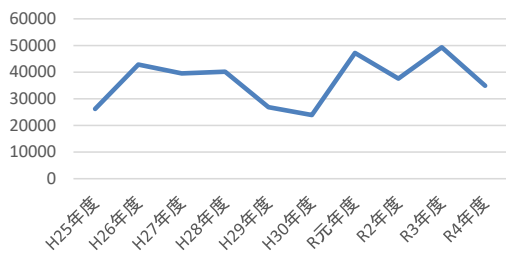
勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	30,571	29,909	▲662	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	699	400	▲299	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	18,682	15,569	▲3,113
	減価償却費	8,980	8,710	▲270	その他	60	90	30
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	18,742	15,659	▲3,083
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲21,508	▲30,653	▲9,145
	その他行政費用	0	7,293	7,293	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	40,250	46,312	6,062	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲21,508	▲30,653	▲9,145
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲21,508	▲30,653	▲9,145	
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	87,772	90,134	2,362	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	43,776	43,776	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲27,665	▲28,264	▲599	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	129,279	139,932	10,653	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲57,618	▲65,311	▲7,693	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	89,867	91,810	1,943	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	89,867	91,810	1,943	
その他の固定資産	2,095	1,676	▲419	負債及び正味財産の部合計	89,867	91,810	1,943	
資産の部合計	89,867	91,810	1,943					
備考	行政費用では、物件費が多かかっており、そのうち委託料(日常管理・補修業務、貸出業務、駐車場の運営業務等)が大部分を占めている。維持補修費は庭球場DE面人工芝張替え工事が占めている。行政収入は、運動場の使用料収入と自動販売機電気使用料であり、庭球場DE面人工芝張替え工事の影響により減少した。							

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	45	44	49	50.9	
	1㎡当たりコスト(円)	1,394	1,945	1,421	1,635	
	受益者負担比率(%)	38	25	46	33.6	
	開館1日当たりコスト(円)	110,047	180,649	117,006	129,363	
	利用者1人当たりコスト(円)	838	1,466	816	1,328	
	区民1人当たりコスト(円)	184	257	188	216	
評価指標等						
備考	平成30年度の開館1日当たりコスト、利用者1人当たりコストが高いのは、拡張整備工事により施設を休場(H29.5~H30.9)していたことによるものである。また、令和2年度は庭球場ABC面人工芝張替え工事を行ったことや新型コロナウイルス感染拡大の影響で施設を休場したことにより、各コストが高くなっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

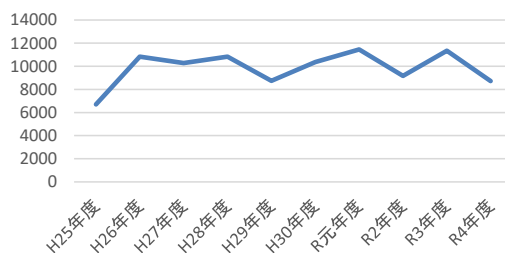
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 12,000
	実績値	11,455	9,161	11,343	8,717	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	庭球場は平日も含め利用率が高い					
現状・課題	○庭球場については令和2年度及び令和4年度に人工芝張替え工事を実施した。 ○多目的広場について、利用者ニーズを踏まえ今後の方向性を定めていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○人工芝化や日除けの設置方法について、調査を進めていく。					
議会、利用者等からの意見	○平成29年度決特 多目的広場の人工芝化について フェンスの高さの検討について ○令和5年度6月会議 小広場の日除け設置、多目的広場の人工芝化について					

庭球場、多目的広場等利用者数



令和2年度から3年度にかけて、回復傾向にあったが、令和4年度は庭球場DE面人工芝張替え工事等による休場により減少している。

庭球場、多目的広場等(件数)



令和2年度から3年度にかけて、回復傾向にあったが、令和4年度は庭球場DE面人工芝張替え工事等による休場により減少している。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-03			
施設名	南千住野球場					
所在地	南千住六丁目45番6号					
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	昭和57年7月	5,600,000	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	昭和57年7月		区職員	その他		
供用開始年月日	昭和57年7月		職員数			
構造			階層			
面積	敷地面積			17,415	m ²	
	延床面積				m ²	
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例					
駐車場の状況	57台	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ		
駐輪場の状況	212台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から	
事業内容	①体育施設受付及び貸出業務(野球場2面):TM共同事業体(R2.4.1~R7.3.31) ②補修管理(野球場2面、外周):ケルンビルシステム(R5.4.1~R6.3.31)					
対象者	一般区民他、区民以外も可					
運営時間等	運営時間	4~10月9:00~20:45(日・祝は7:00~)、11~2月9:00~15:30、3月9:00~17:30				
	休日	年始1/1~1/3				
施設基本データ等	野球場利用者数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
		13,554	15,210	18,252	20,538	21,600
	野球場(件数)	753	845	1,014	1,141	1,200
	稼働率	26	35	37	39	40
	開場日数	357	308	347	362	363
	委託料(円)	11,190,501	14,876,982	11,709,275	9,092,820	9,575,633
	に指定管理 に係る費用					
備考	利用件数について、スポーツセンターの改修や新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少したが令和3年度から4年度にかけて回復傾向にある。					

III 財務諸表

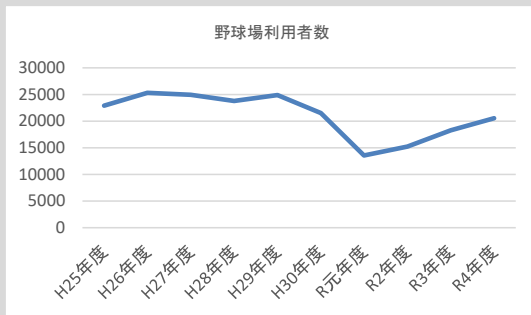
(単位:千円)

勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	13,134	12,248	▲ 886	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	165	0	▲ 165	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	2,057	2,293	236
	減価償却費	54	743	689	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,057	2,293	236
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 25,558	▲ 10,698	14,860
	その他行政費用	14,262	0	▲ 14,262	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	27,615	12,991	▲ 14,624	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 25,558	▲ 10,698	14,860
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 25,558	▲ 10,698	14,860
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	3,077,393	3,076,650	▲ 743	賞与引当金	0	0	0
	土地	3,066,735	3,066,735	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	360,363	360,363	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 349,706	▲ 350,448	▲ 742	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	3,077,393	3,076,650	▲ 743
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	3,077,393	3,076,650	▲ 743	
資産の部合計	3,077,393	3,076,650	▲ 743	負債及び正味財産の部合計	3,077,393	3,076,650	▲ 743	
備考	行政費用では、物件費が多くなっており、そのうち委託料(日常補修業務、照明点検、受付業務等)が大部分を占めている。令和3年度のその他行政費用の減少は南千住野球場の工事請負費である。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和4年度は利用件数が回復したため微増となっている。							

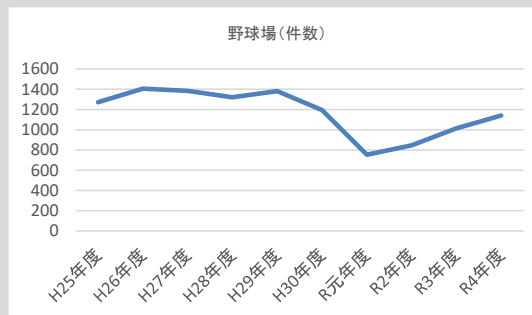
指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却費(%)	100	100	97.0	97.2	
1㎡当たりコスト(円)	1,750	857	1,586	746	
受益者負担比率(%)	6	12	7	17.7	
開館1日当たりコスト(円)	85,353	48,481	79,582	35,887	
利用者1人当たりコスト(円)	2,248	982	1,513	633	
区民1人当たりコスト(円)	142	70	129	61	
財務指標・評価指標等					
備考	平成30年度は荒川総合スポーツセンターの大規模改修工事に伴い、開場日数が減少したため、開館1人当たりのコストが増加した。令和3年度はB面防球ネット改修工事を行ったため、各コストが増加している。他の野球場と比較して1人当たりにかかるコストが低いのは、平日昼間の稼働率が他と比較して高いためである。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用件数	目標値	-	-	-	1,200
		実績値	753	845	1,014	1,141
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	平日昼間の利用率が高い。					
現状・課題	○野球場は区道、民間住宅に隣接しているため、防球ネット等の安全対策が必要である。 ○野球場外周の樹木に害虫が発生しやすいため、剪定や消毒などの対策が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○施設の安全対策(樹木剪定、防球ネットの維持管理)を実施する。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による休場のため減少傾向にあったが、令和3年度から4年度にかけて上昇傾向にある。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による休場のため減少傾向にあったが、令和3年度から4年度にかけて上昇傾向にある。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-08		
施設名	少年運動場				
所在地	足立区小台一丁目22番地先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年11月			
	増改築①	平成28年1月	79,380		
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和45年11月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積	47,647 m ²			
	延床面積	m ²			
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	92台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	約290台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり 下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理・補修業務(少年野球場7面、サッカー場1面、多目的広場1面、駐車場) :ケルンビルシステム(R5.4.1~R6.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター(R5.4.1~R6.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等	野球場、サッカー場等利用者数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
		48,876	60,922	86,962	97,486	97,760
	野球場、サッカー場等(件数)	2,648	3,225	4,595	5,158	5,200
	稼働率(野球場)	31	25	28	31	30
	稼働率(サッカー場)	22	24	26	29	30
	稼働率(多目的)	10	30	35	39	40
	開場日数	203	305	344	358	360
	委託料(円)	73,362,695	105,832,752	35,237,071	54,538,416	59,018,883
に指定 に係る 管理 費用						
備考	利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和3年度から4年度にかけて増加し、コロナ禍よりも高い水準にある。					

III 財務諸表

(単位:千円)

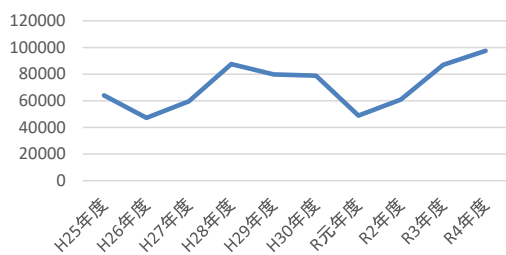
勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	5,617	4,096	▲1,521	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	244	0	▲244	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	783	955	172
	減価償却費	918	918	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	783	955	172
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲5,996	▲4,059	1,937
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	6,779	5,014	▲1,765	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲5,996	▲4,059	1,937
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲5,996	▲4,059	1,937
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	18,625	32,612	13,987	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	13,574	28,479	14,905	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲2,688	▲3,136	▲448	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	74,848	74,848	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲67,109	▲67,579	▲470	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	18,625	32,612	13,987
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	18,625	32,612	13,987	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	18,625	32,612	13,987	
資産の部合計	18,625	32,612	13,987					
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。維持補修費の減は、令和3年度に多数の修繕を実施したことによる。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和4年度は利用件数がコロナ禍前より回復したため増となっている。							

指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	77	78	79	68.4	
1㎡当たりコスト(円)	153	1,594	142	105	
受益者負担比率(%)	7	1	12	19.0	
開館1日当たりコスト(円)	36,015	248,993	19,706	14,006	
利用者1人当たりコスト(円)	150	1,247	78	51	
区民1人当たりコスト(円)	34	354	32	23	
財務指標・評価指標等					
備考	日常補修に要する経費が「西新井橋野球場」に含まれるため、開館1日当たり・1人当たりコストが低くなっている。令和元年度・2年度は台風冠水被害の復旧作業を行ったため、各コストが高くなっている。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

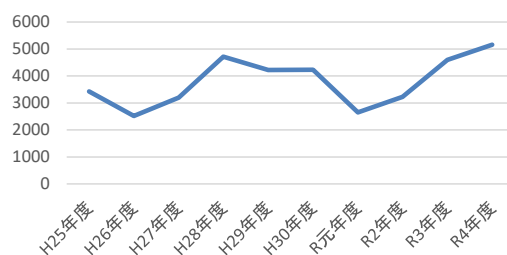
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用件数	実績値	2,648	3,225	4,595	5,158
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	少年野球7面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。					
現状・課題	○河川敷に設置されていることから、台風等による河川の氾濫の恐れがある場合、被害を最小限に留めるための対策を講じる必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○河川増水時の対応をマニュアル化し、訓練を行うことで、増水時の速やかな対応につなげる。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について					

野球場、サッカー場等利用者数



令和3年度から令和4年度にかけて上昇傾向にあり、コロナ禍よりも高い水準にある。

野球場、サッカー場等(件数)



令和3年度から令和4年度にかけて上昇傾向にあり、コロナ禍よりも高い水準にある。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-06		
施設名	荒川遊園運動場				
所在地	西尾久八丁目1番2号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和62年4月			
	増改築①	平成5年10月	140,000		
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成5年4月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成5年4月		職員数	0	1
構造					
面積	敷地面積		5,430 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯					
区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。					
関連部署					
根拠法令等 設置条例					
荒川区営運動場の設置、管理に関する条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①受付・開閉場(運動場)：株式会社日新ウエルネス (R5. 4. 1~R6. 3. 31) ②補修業務(運動場)：上園緑地建設 (R5. 4. 1~R6. 3. 31) ③樹木剪定(運動場・スポーツハウス)：六創園 (R5. 4. 1~R6. 3. 31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	9:00~20:00 (日・祝は7:00~20:00)				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	運動場利用者数	20,380	16,660	18,660	21,200	22,000
	運動場(件数)	1,019	833	933	1,060	1,100
	稼働率	71	60	62	64	65
	開場日数	359	305	321	359	360
	委託料(円)	7,400,194	9,484,553	10,160,699	9,216,064	9,579,690
	に指定管理 に係る費用					
備考	利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和3年度から4年度にかけて増加し、コロナ禍前と同程度となっている。					

III 財務諸表

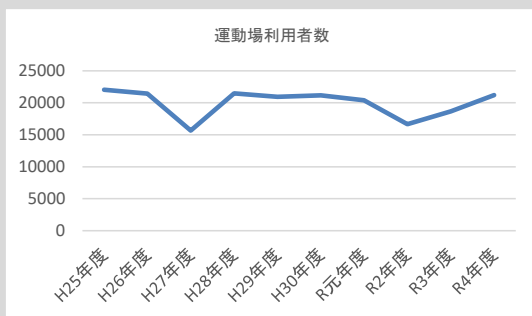
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	
	R3年度	R4年度	差額				R3年度	R4年度	差額				
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	0		
		物件費	9,283	9,216	▲ 67	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		維持補修費	297	0	▲ 297	都支支出金	0	0	0	0	0		
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0		
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	1,125	1,384	259	0	0		
		減価償却費	0	75	75	その他	0	0	0	0	0		
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,125	1,384	259	0	0		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 14,326	▲ 8,633	5,693	0	0		
		其他行政費用	5,871	726	▲ 5,145	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0		
		行政費用合計(b)	15,451	10,017	▲ 5,434	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 14,326	▲ 8,633	5,693	0	0		
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 14,326	▲ 8,633	5,693	0	0				
貸借対照表	固定資産	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
		R3年度	R4年度	差額				R3年度	R4年度	差額			
		流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0		
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0		
		有形固定資産	3,770	3,694	▲ 76	賞与引当金	0	0	0	0	0		
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0		
		建物	0	0	0	固定負債	0	0	0	0	0		
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0		
		工作物等	144,005	144,005	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0		
工作物等減価償却累計額	▲ 140,235	▲ 140,310	▲ 75	その他の固定負債	0	0	0	0	0				
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0	0				
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	3,770	3,694	▲ 76	0	0				
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	3,770	3,694	▲ 76	0	0				
資産の部合計	3,770	3,694	▲ 76	負債及び正味財産の部合計	3,770	3,694	▲ 76	0	0				
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常管理・補修業務、外周樹木剪定)が大部分を占めている。維持補修費の減は、令和3年度に多数の修繕を実施したことによる。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和4年度は利用件数がコロナ禍前より回復したため増となっている。												

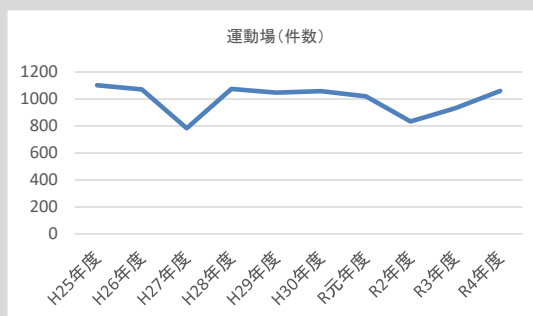
指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却費(%)	100.0	100.0	97	97.4	
1㎡当たりコスト(円)	1,397	1,754	2,845	1,845	
受益者負担比率(%)	15	11	7	13.8	
開館1日当たりコスト(円)	21,136	31,220	48,134	27,903	
利用者1人当たりコスト(円)	372	572	828	473	
区民1人当たりコスト(円)	35	44	72	47	
財務指標・評価指標等					
備考	施設規模が大きいため、開場1日当たり・利用者1日当たり・利用者1人当たりコストのいずれも他と比較して低コストで運営ができています。令和3年度はダグアウト撤去・新設工事を行ったため各コストが高くなっています。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	実績値 1,019	833	933	1,100
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	野球、サッカー以外にも、ゲートボール、地域のイベントなど様々な活用がなされている。					
現状・課題	○多目的(サッカー・野球・地域のイベント等)での利用が可能であるため、各団体ごとに求めるグラウンド条件が異なる。 ○強風時に砂ぼこりが発生しやすいため、散水等の対策が必要である。 ○グラウンドに凸凹が生じており、水はけが悪く、水溜りができてしまう。					
課題に対する現時点での考え	○各団体と調整を図るなど運動場の特性を生かした運用を図る。 ○強風が予想される際には、事前に散水を行ったり利用者として協力して、散水を実施するなどして、砂ぼこりの発生を防ぐ取組を継続していく。 ○不陸整正をするなど、水はけの改善を図る。					
議会、利用者等からの意見	○平成29年度決特 平日の運動場の開放について					



令和元年度から2年度にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により減少したが、3年度から4年度にかけて上昇傾向にある。



令和元年度から2年度にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により減少したが、3年度から4年度にかけて上昇傾向にある。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-07		
施設名	西新井橋野球場				
所在地	足立区千住元町36番7号先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和34年4月			
	増改築①	平成27年5月	101,079		
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和34年4月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和34年4月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積				35,057 m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	50台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	約150台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理・補修業務(大人野球場5面、駐車場):ケルンビルシステム(R5.4.1~R6.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター(R5.5.1~R6.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等	野球場利用者数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
		11,196	11,412	20,718	18,936	21,600
	野球場(件数)	622	634	1,151	1,052	1,200
	稼働率	9	9	12	12	12
	開場日数	203	305	344	359	360
	委託料(円)	41,599,059	60,006,533	20,830,081	54,407,550	59,018,883
	指定管理に係る費用					
備考	利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和3年度から4年度にかけて回復傾向にある。					

III 財務諸表

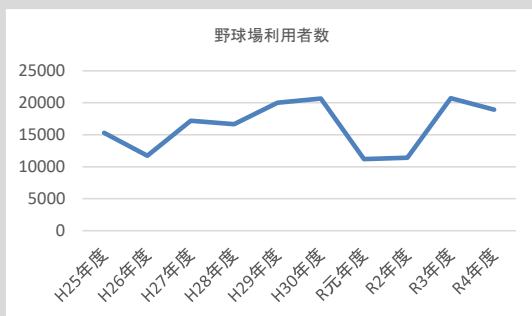
(単位:千円)

勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	50,547	54,436	3,889	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	168	0	▲168	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	627	601	▲26
	減価償却費	7,220	7,220	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	627	601	▲26
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲57,308	▲61,055	▲3,747
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	57,935	61,656	3,721	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲57,308	▲61,055	▲3,747
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲57,308	▲61,055	▲3,747	
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	72,325	65,104	▲7,221	その他の流動負債	0	0	0
	土地	993	993	0	固定負債	0	0	0
	建物	14,660	14,660	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲3,774	▲4,222	▲448	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	101,223	101,223	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲40,778	▲47,550	▲6,772	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	72,325	65,104	▲7,221	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	72,325	65,104	▲7,221	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	72,325	65,104	▲7,221	
資産の部合計	72,325	65,104	▲7,221					
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。維持補修費の減は、令和3年度に多数の修繕を実施したことによる。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和4年度は微減となっている。							

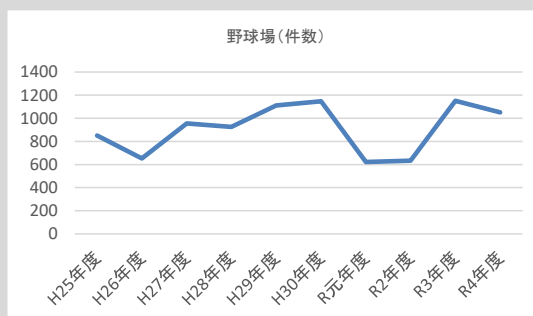
指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却費(%)	26.0	32	38	44.7	
1㎡当たりコスト	3,428	2,835	1,653	1,759	
受益者負担比率(%)	0	0	1	1.0	
開館1日当たりコスト(円)	591,990	325,915	168,416	171,744	
利用者1人当たりコスト(円)	10,734	8,710	2,796	3,256	
区民1人当たりコスト(円)	560	463	270	287	
財務指標・評価指標等					
備考	開館1日当たり、利用者1日当たりコストが高いのは、当施設は河川敷に設置しているため、平日の利用が少ないことによるものである。令和元年度・2年度は台風冠水被害の復旧作業を行ったため、各コストが高くなっている。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用件数	実績値	622	634	1,151	1,052
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	大人の軟式野球会場として5面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。					
現状・課題	○河川敷に設置されていることから、台風等による河川の氾濫の恐れがある場合、被害を最小限に留めるための対策を講じる必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○河川増水時の対応をマニュアル化し、訓練を行うことで、増水時の速やかな対応につなげる。					
議会、利用者等からの意見						



令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和4年度はコロナ禍前の水準に戻りつつある。



令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和4年度はコロナ禍前の水準に戻りつつある。